

平成19年 市職員への訓示

皆さん、こんにちは。

昨日の選挙で多くの市民の皆様のご支援により、新生木津川市の初代市長に選ばれまして、本日から皆さんとともに仕事をさせていただくことになりました河井でございます。

新生木津川市の市政を運営していくという、その職責の重さを改めて感じるのと併せまして、選挙戦を通じまして、市民の皆様にお約束いたしました項目の実現に、全力を傾注しなければならないと、決意を新たにしております。

さて、新生木津川市には、清掃センターの建設を始めといたしまして、税や公共料金、更には住民サービスの一部におきまして合併協議で一元化されていない項目があるなど、大きな課題が山積いたしております。

このような中、職員の皆さんには、それぞれの立場でこれらの課題解決に向けまして業務を遂行していただくわけですが、業務の遂行に当たりましては、常に市民の目線に立ち、また、木津川市全体の財政を意識しながら、自覚と責任を持って業務を進めていただきたいと思いますと考えております。

住民サービスの向上と、財政の健全化というある面におきましては、相反することもあるかも知れませんが、そこは、行政のプロとして創造力を最大限発揮し乗り越えていただきたいと思いますと考えております。

私は、年功序列や慣例による人事を行う時代は終わったと考えています。職員一人ひとりが切磋琢磨し、市民の幸せを願い、その目的を達成するために責任を持って努力していただける方、更には、他の部や課が抱えている政策的課題を木津川市全体の課題として捉え、協力・調整して解決に取り組んでいただける方に責任あるポストに就いていただき、木津川市民のためにご活躍いただきたいと思いますと考えております。

職員の皆さんもご承知のとおり、日本は既に本格的な少子高齢化、人口減少時代に突入いたしました。

国におけます三位一体の構造改革や交付税交付金の削減もあり、自治体運営は厳しさを増すばかりでございます。

このような中、私たちは、一人でも多くの方に住んでいただく、住み続けていただくための住民サービスの向上や企業誘致等、既に活発化しております自治体間競争に勝ち残っていかねばなりません。

私は、特定の政党や政策集団、団体や個人のための市政を進める気持ちは一切ございません。

クリーンで誠実な心のかよった市政を実行するため、すばらしい木津川市を子や孫の世代に健全な状態で引き継いでいくため、選挙期間中新しい市や市民の皆様にも約束した項目の実現のため、更には山積している課題の解決に向けまして、私も全身全霊取り組む覚悟でございます。

職員の皆さんも今一度、市民の皆様にも奉仕する『公僕』であるとの原点に立ち返り、市民本位の開かれた市政の推進に向けまして、私と一っしょに頑張ってくださいますようお願いいたしまして、就任のご挨拶といたします。